

第三回多核種除去設備等処理水小委

1・開催日時 平成29年2月24日(金) 10:00—12:00

2・開催場所 経済産業省本館17階 第2共用会議室

福島県産品に対する風評の実態 と農業再生に向けた取り組み

小山良太

うつくしまふくしま未来支援センター農環境復興支援部門長

福島大学食農学類準備室副室長

経済経営学類教授

福島県産農産物の動向

市場：取引総量、取引価格、取引順位（市場評価）

①野菜・果樹は震災前価格に戻りつつある。

季節性作物。旬の時期に限定的な取引

元々首都圏市場でのシェアが高い

②畜産・米は市場構造自体が変化。小売販売用家庭用米（産地表示良食味米）から業務用米（国産表示）

2016年6月 沖縄県



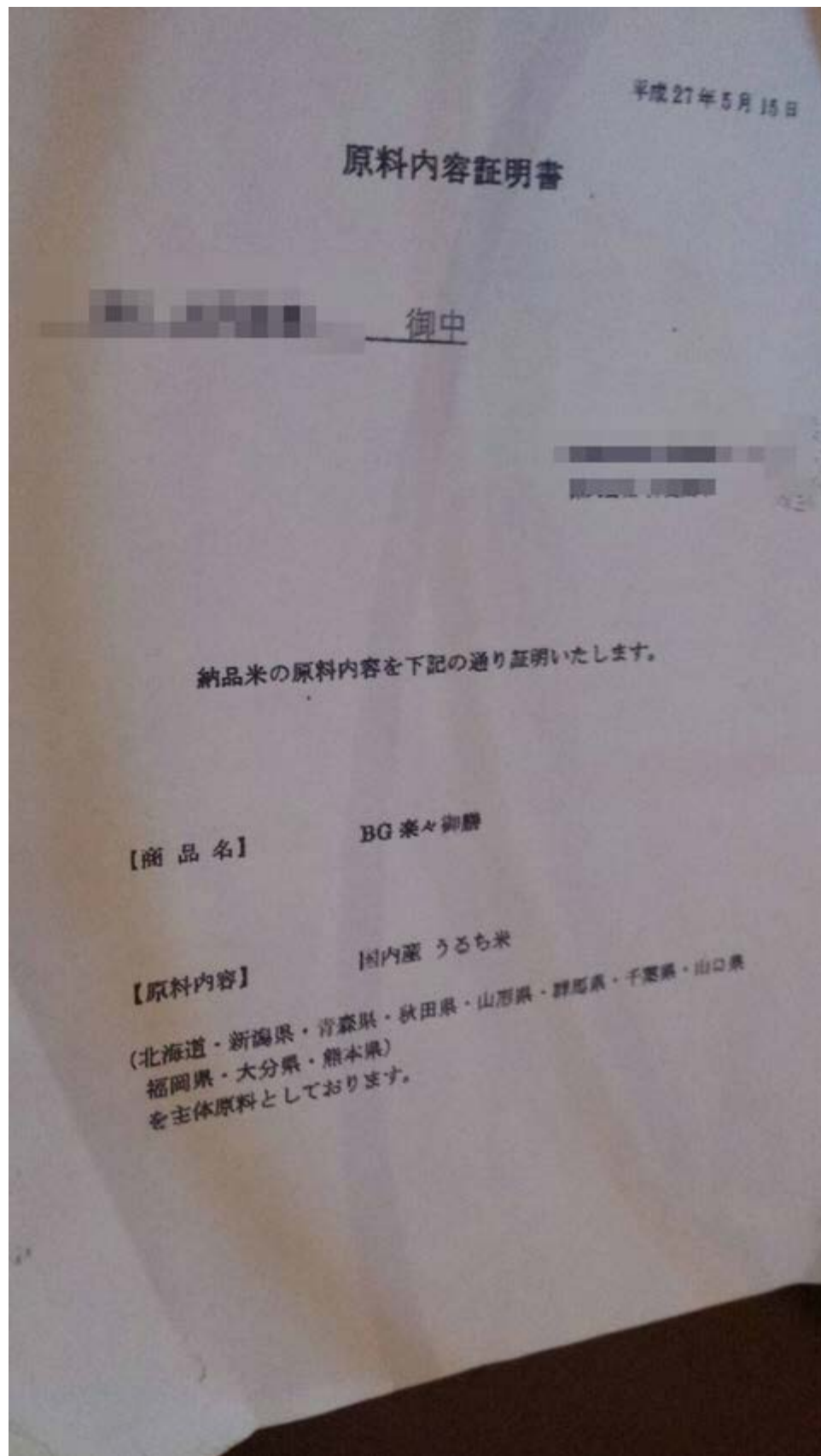
2016年 1kg = 350円

2017年2月



2017年 1kg = 396円

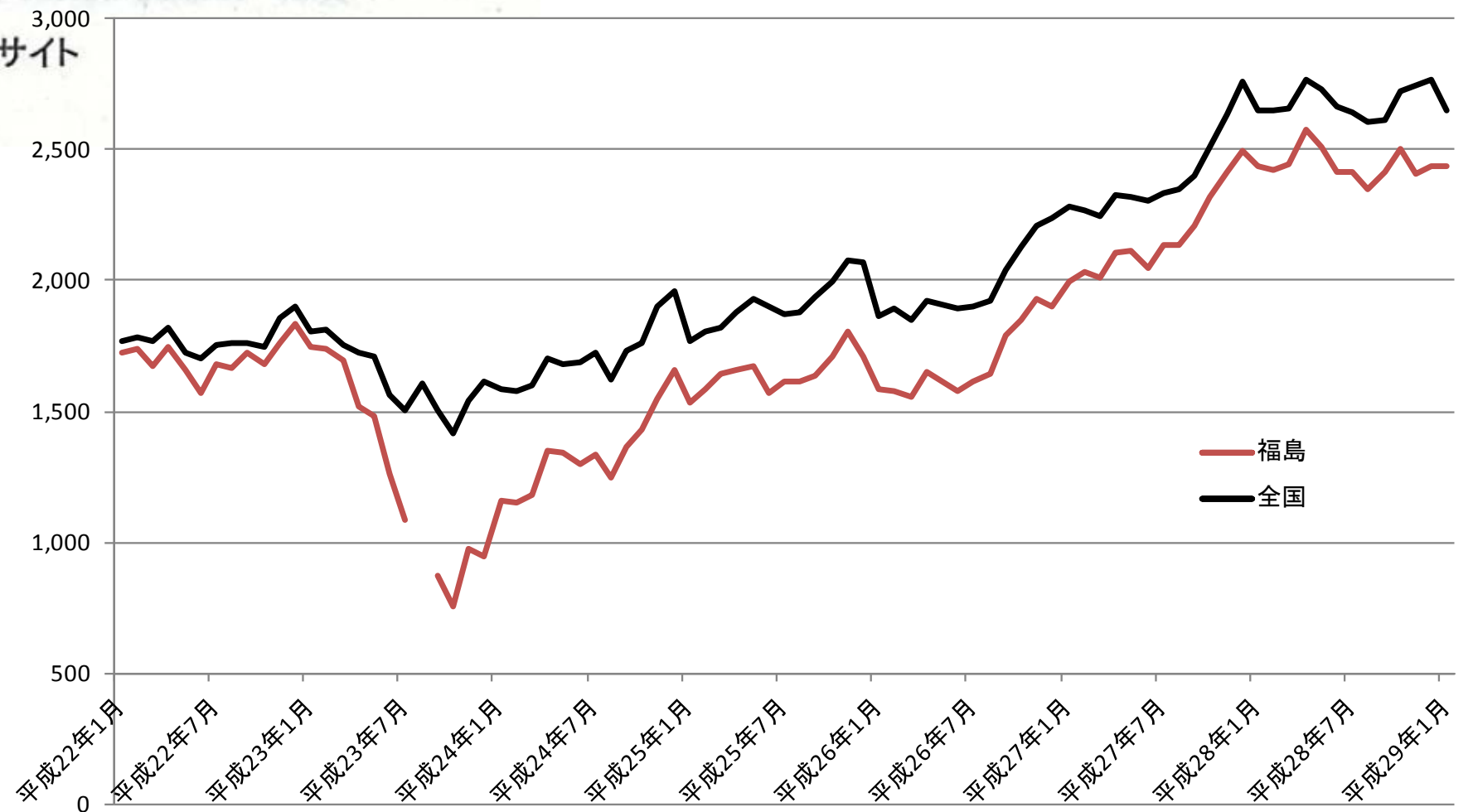
• 2017年2月



(円/kg) 東京都中央卸売市場の和牛枝肉価格



資料 東京都中央卸売市場ウェブサイト
(注) 生体枝肉の価格。



福島県の畜産は？

畜産農家の戸数の推移

(百戸, %)

		05	10	15年	05-10年 増加率	10-15年 増加率
酪農家	全国	277.0	219.0	174.0	△ 20.9	△ 20.5
	福島	7.4	5.7	3.8	△ 23.1	△ 33.9
繁殖農家	全国	762.0	639.0	472.0	△ 16.1	△ 26.1
	福島	47.9	36.5	23.1	△ 23.8	△ 36.7
肥育農家	全国	136.0	117.0	82.1	△ 14.0	△ 29.8
	福島	6.6	4.5	3.2	△ 32.1	△ 29.7

資料 農水省「畜産統計」

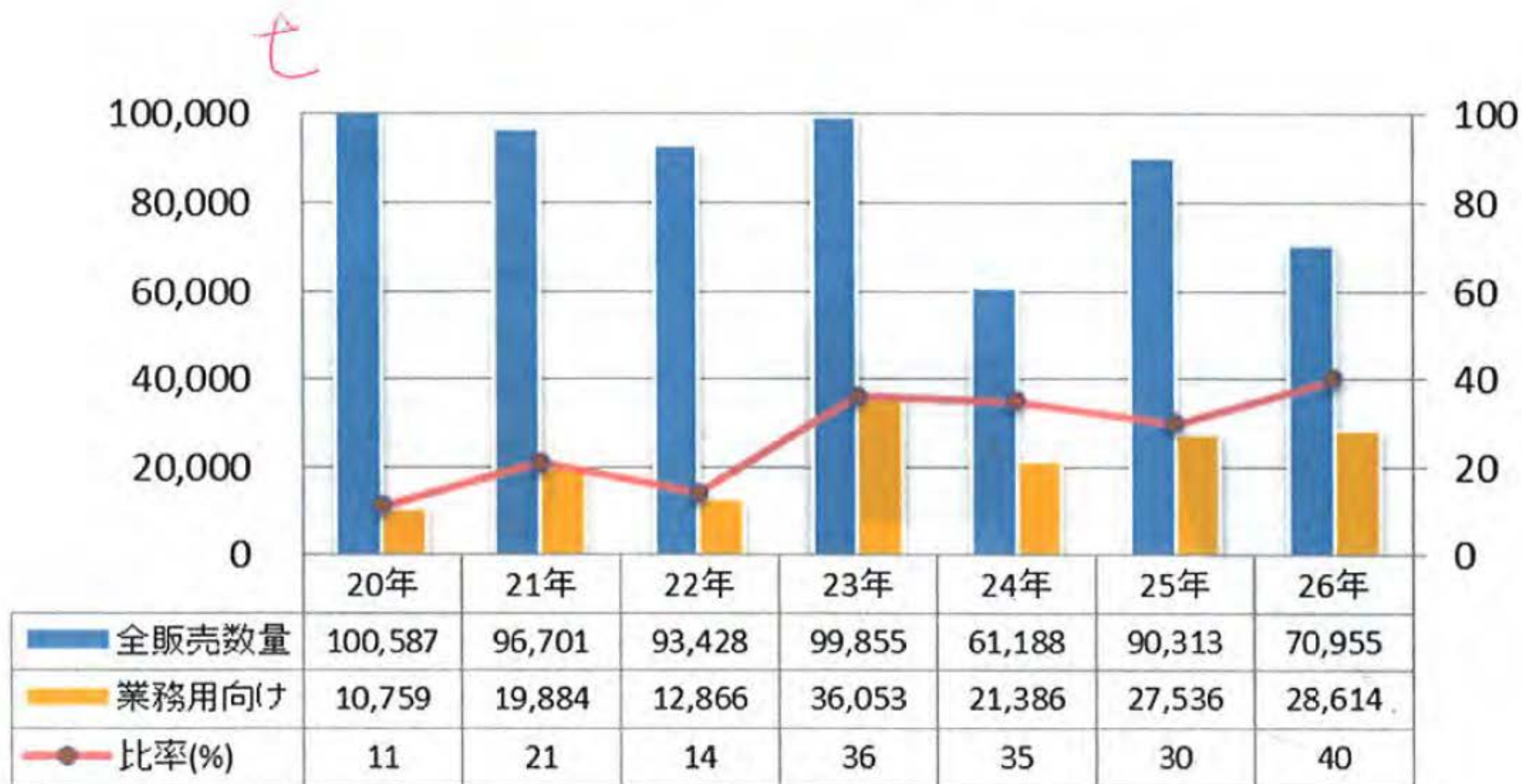
- 以下、農林中金総研資料より

図表1. 県産米の年産別価格推移(中通コシヒカリ)

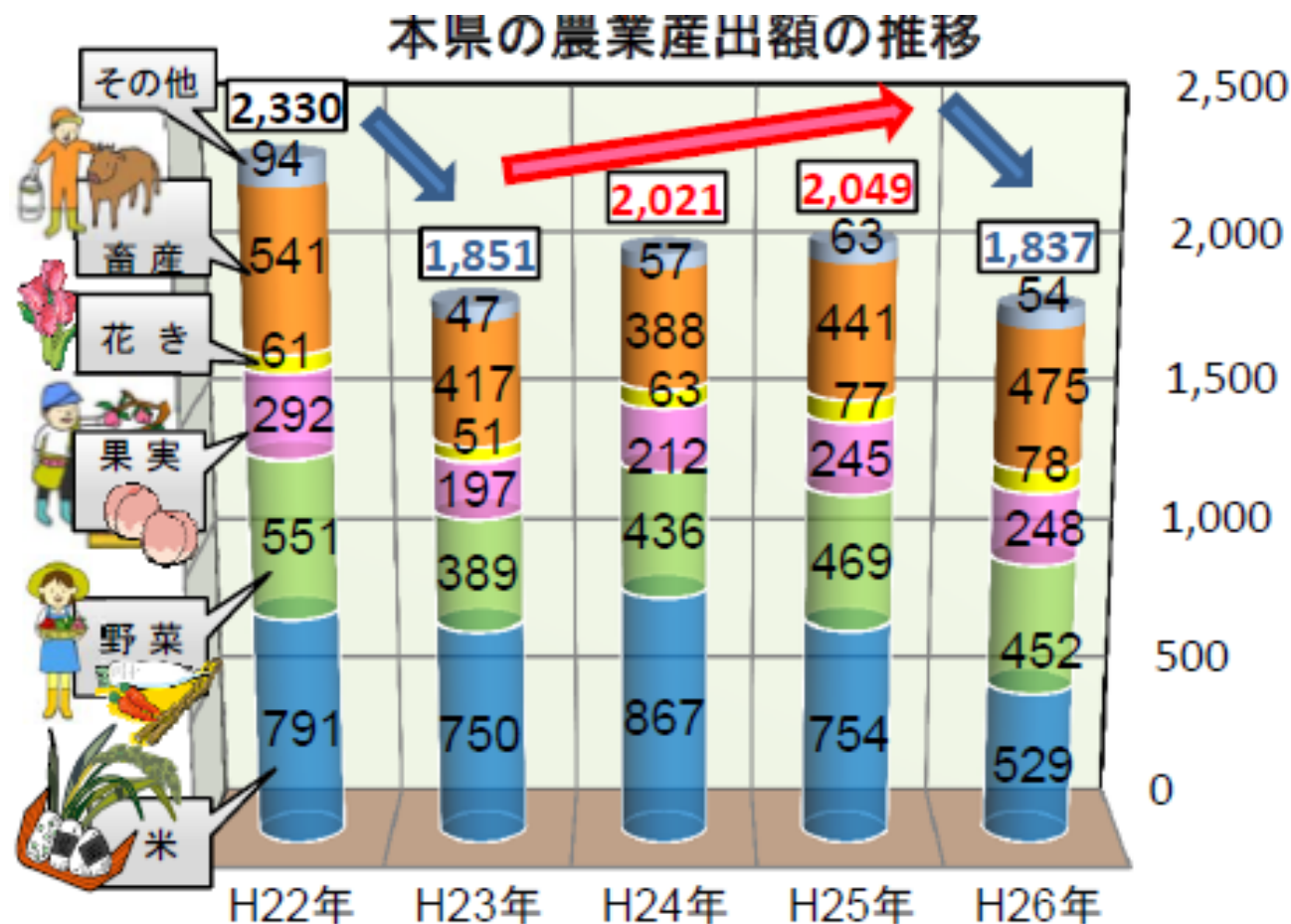


(注1) 米の価格は、農林水産省が公表している相対取引価格(出荷業者・通年平均)を使用
(注2) 価格の基準は、主食用米・1等・円/60kg・税込)
(注3) 指標は、中通コシヒカリ価格を全国平均価格と比較した水準を表す

図表3. 全農福島の業務用向け販売の推移

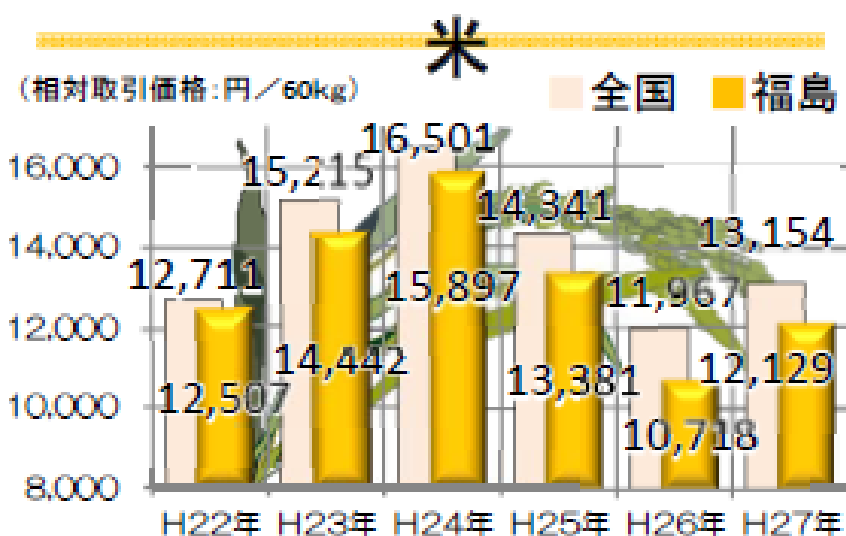
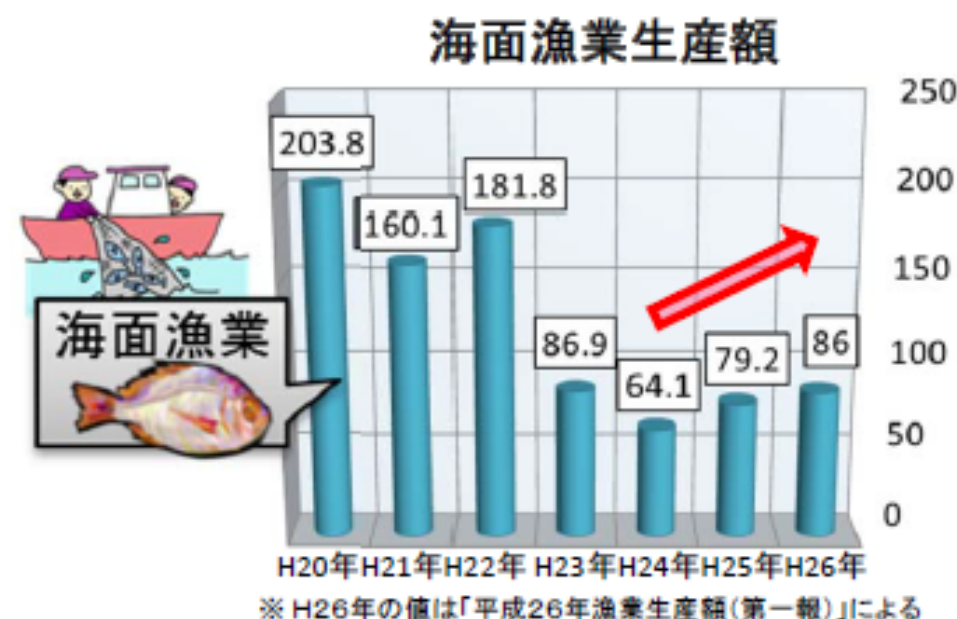
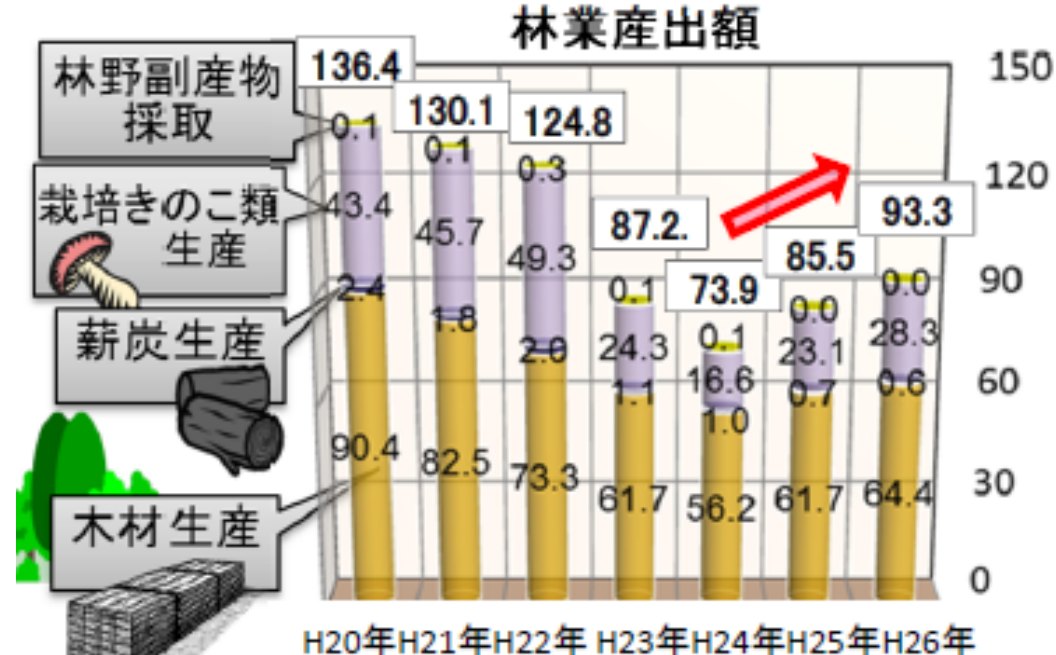


福島県、ふくしま復興の歩み17版、2016.7

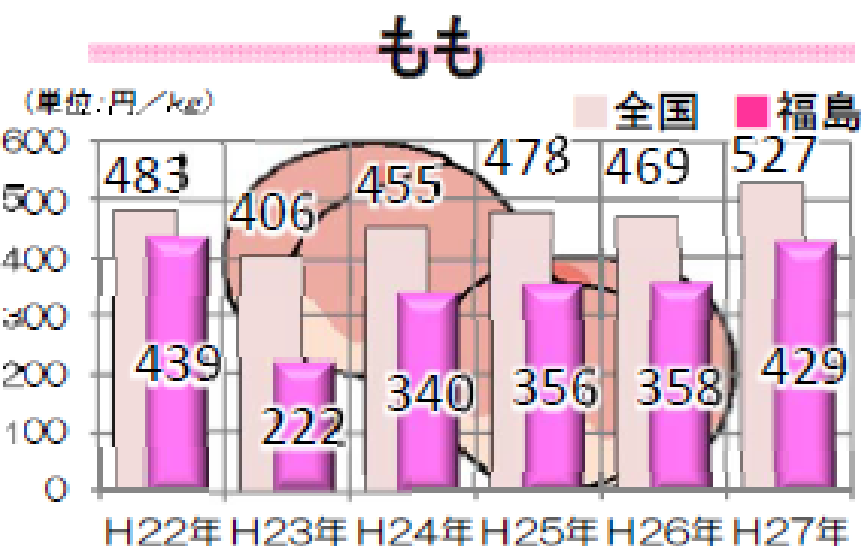


※ 項目毎の四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しない。
 ※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。

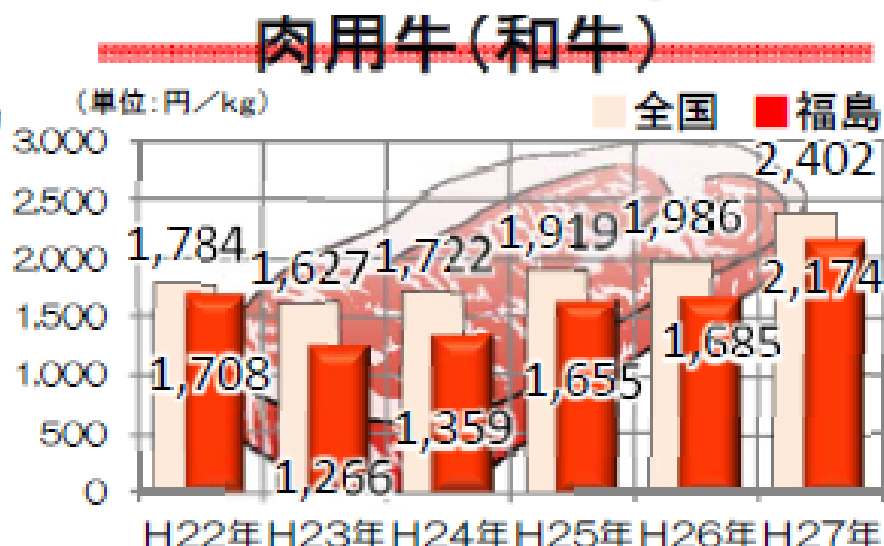
【出典】農林水産省 生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、漁業生産額より作成



【出典】農林水産省「米の相対取引価格」に基づく県推計
 H27年の価格はH28年1月までの数値に基づく暫定値



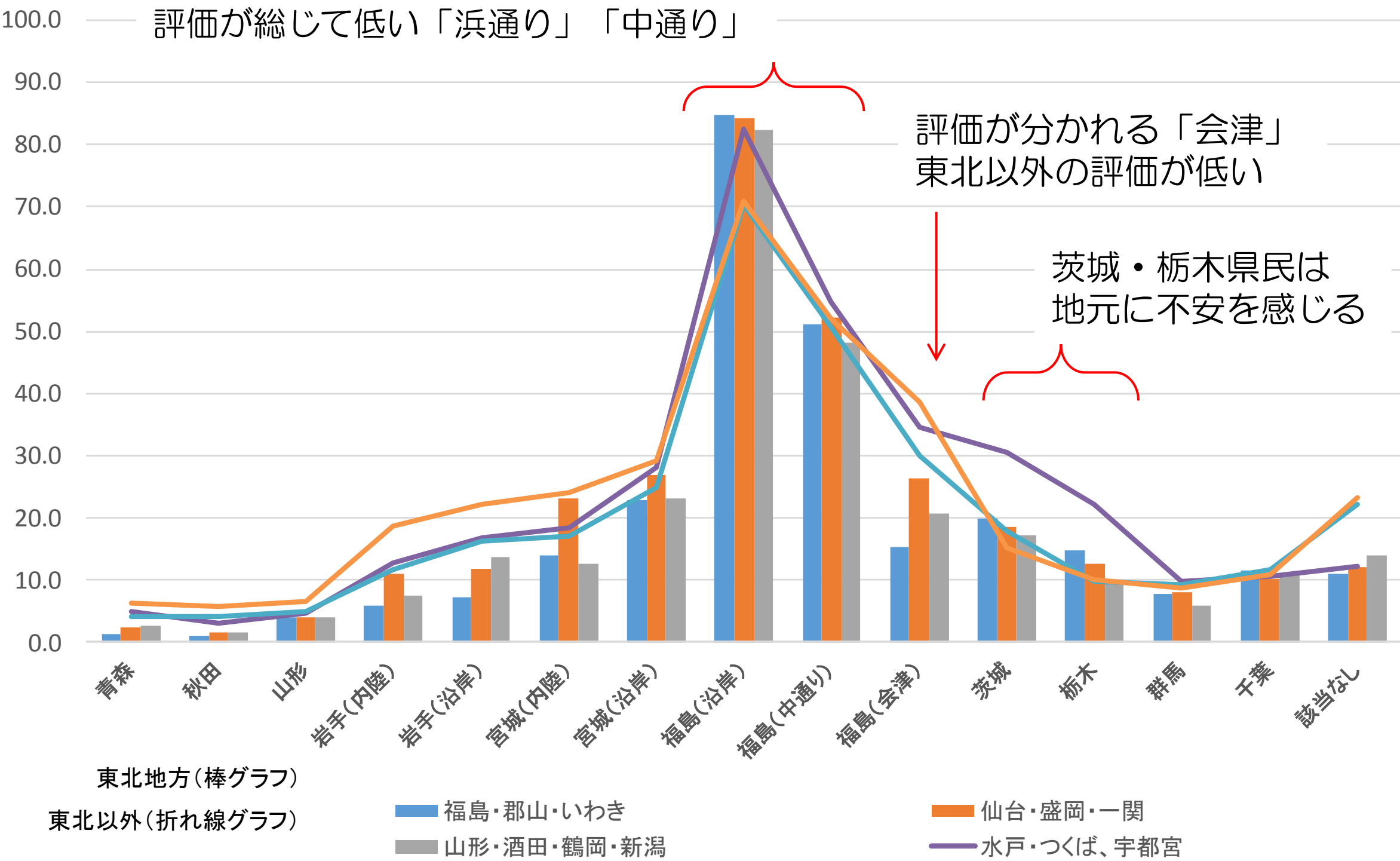
【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報



消費者のイメージ 2015年

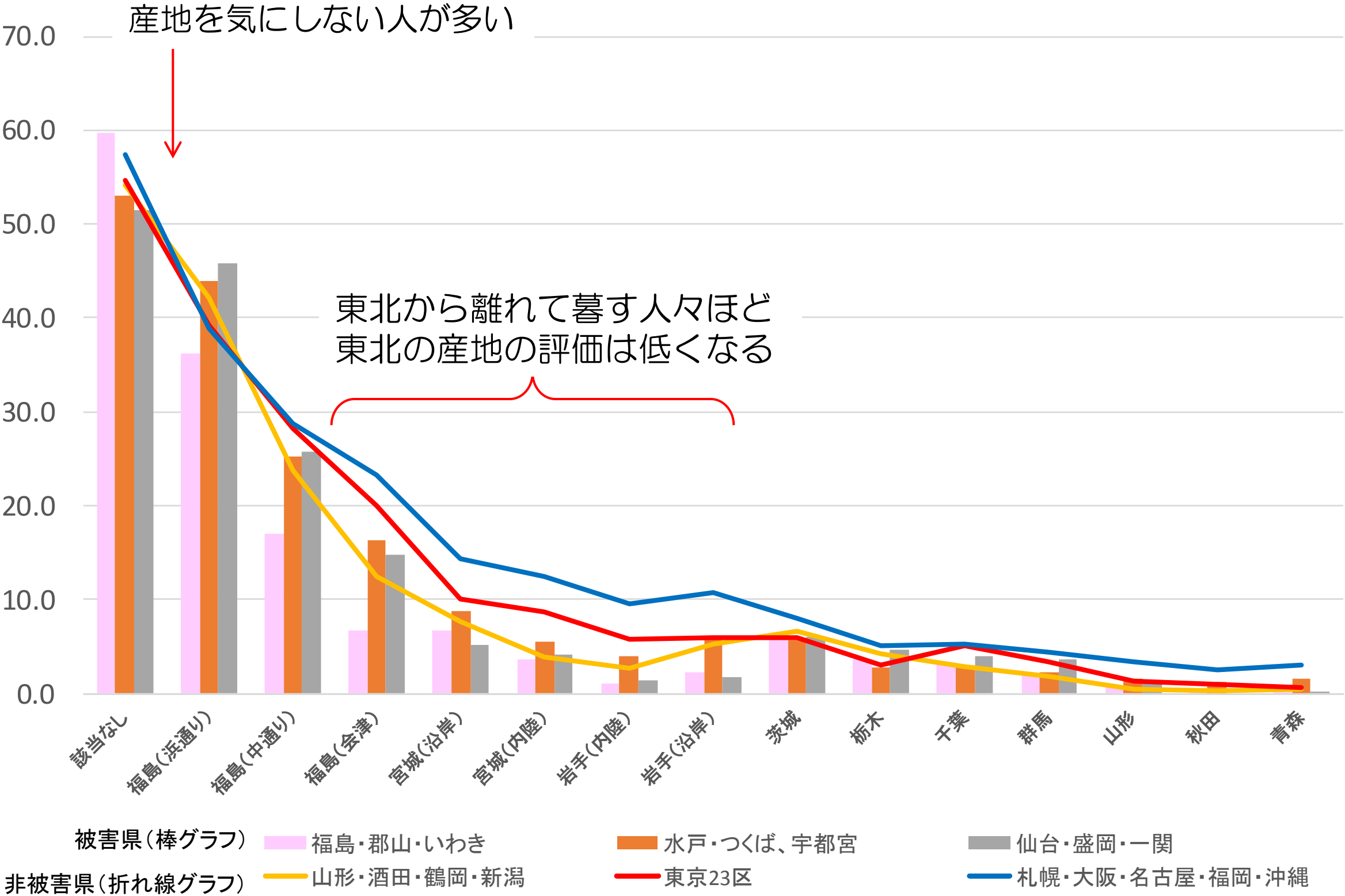
関谷・小山・中村・則藤：郡山市における地域課題調査研究
～ 原子力災害による風評被害の現状と払拭の取組み～調査報告書
平成27年3月、特定非営利活動法人超学際的研究機構

Q9.1 原発事故直後、食品生産に適さない程度まで放射性物質で汚染されたとあなたが思う地域をあげてください。(いくつでも)



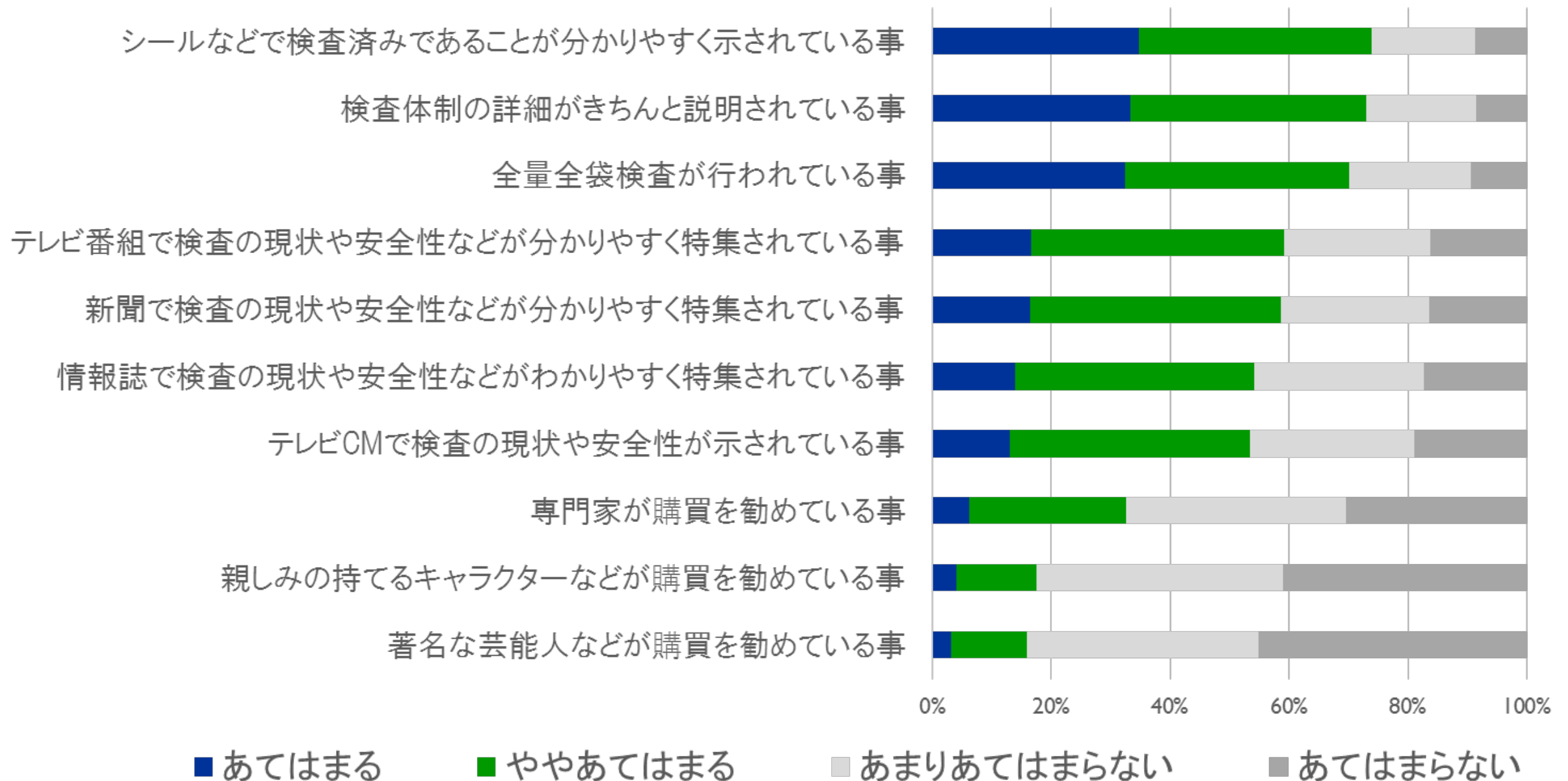
消費者のイメージ 2015年

Q9.4 現在、購入したくないと思う食品産地の地域をあげてください(いくつでも)。



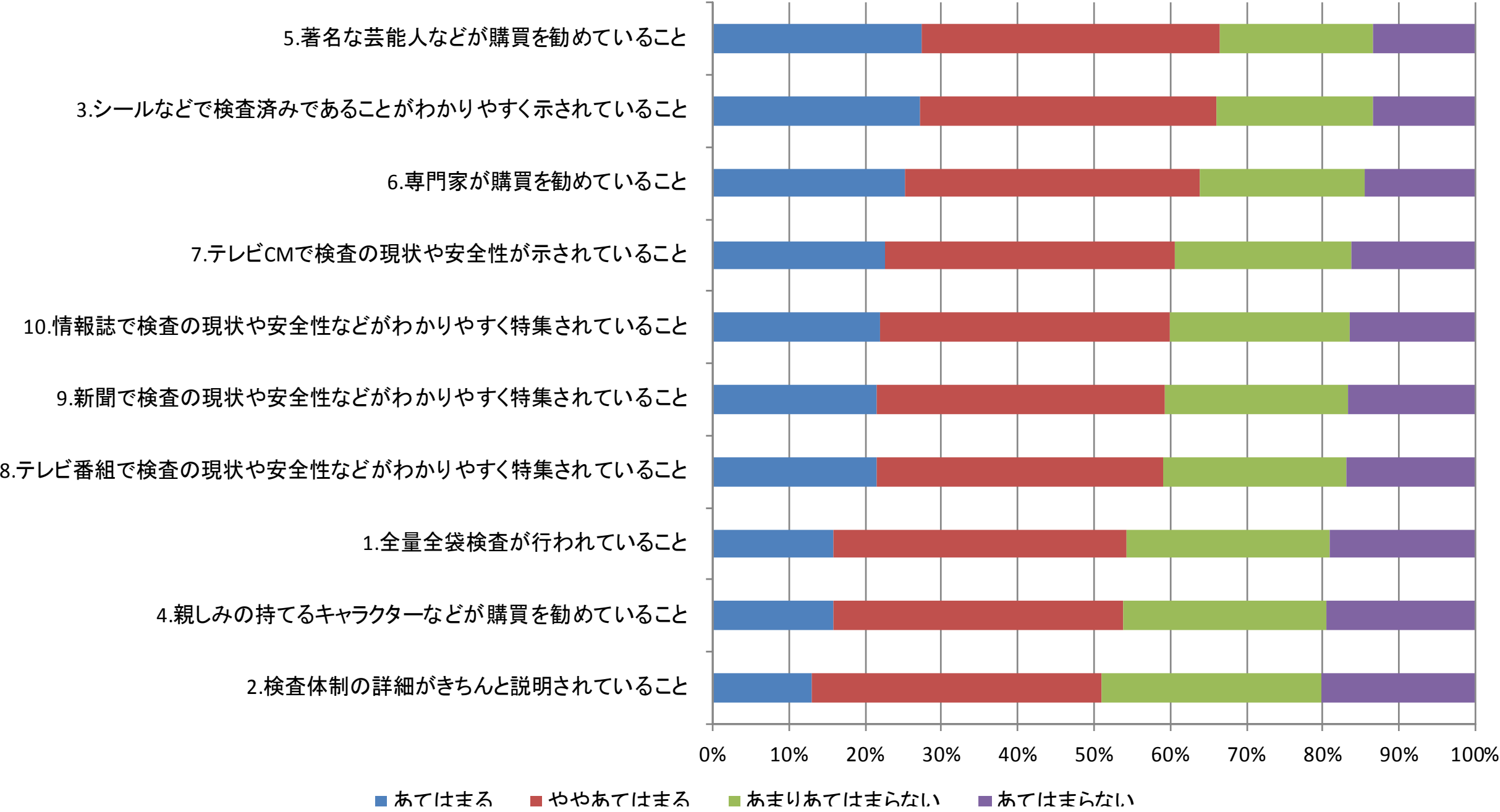
消費者が求めるもの 2015年

Q11. あなたは食品を購入する際、どのような情報があればより積極的に購入したいと思いますか。それぞれについて、あなたの考えとして、あてはまるものを選んでください。



12都道府県3600回答(平成27年1月16日～平成27年2月5日)

Q11. あなたは食品を購入する際、どのような情報があればより積極的に購入しようと思いますか。それぞれについて、あなたの考えとして、あてはまるものを選んでください。



47都道府県12513回答(平成29年2月10日～平成29年2月22日)中間集計

安全性の根拠と共に販売プロモーション(市場開拓、マーケティング)の必要性

米全袋検査の結果(2017年2月22日時点)

	【2012年度】	【2013年度】	【2014年度】	【2015年度】	【2016年度】
25未満 (Bq/kg)	10,323,674 (99.78%)	10,999,222 (99.93%)	11,008,211 (99.98%)	10,497,833 (99.9999%)	10,227,617
25以上 (Bq/kg)	20,357 (0.2%)	6,484 (0.06%)	1,910 (0.02%)	645 (0.00002%)	415
50以上 (Bq/kg)	1,678 (0.0129%)	493 (0.0044%)	12 (0.0001%)	13 (0.0001%)	5
75以上 (Bq/kg)	389 (0.0038%)	323 (0.003%)	2 (0.00002%)	1	0
100以上 (Bq/kg)	71 (0.0007%)	28 (0.0003%)	2 (0.00002%)	0	0
合計	10,346,169 (100%)	11,006,550 (100%)	11,010,137 (100%)	10,498,492 (100%)	10,228,037

出典:「ふくしまの恵み安全対策協議会」より
<https://fukumegu.org/ok/kome/>

表1 福島県産農産物の放射性物質の自主検査結果（総括表）

但し米を除く

（単位：件・％）

品目	年度（年産）	件数／割合	セシウム134・137合計値（ベクレル/Kg）					計
			25未満	25～50	51～75	76～100	100超	
果実	2012	件数	11,887	154	0	0	0	12,041
		割合	98.72	1.28	0	0	0	100
	2013	件数	19,743	33	0	0	0	19,776
		割合	99.83	0.17	0	0	0	100
	2014	件数	20,571	13	0	0	0	20,584
		割合	99.94	0.06	0	0	0	100
	2015	件数	16,248	7	0	0	0	16,255
		割合	99.96	0.04	0	0	0	100
	2016	件数	7,447	1	0	0	0	7,448
		割合	99.99	0.01	0.00	0.00	0.00	100.00
	合計	件数						76,104
野菜	2012	件数	2,152	4	0	0	0	2,156
		割合	99.81	0.19	0.00	0.00	0.00	100
	2013	件数	23,260	24	0	0	0	23,284
		割合	99.90	0.10	0	0	0	100
	2014	件数	21,156	7	0	0	0	21,163
		割合	99.97	0.03	0	0	0	100
	2015	件数	19,820	4	0	0	0	19,824
		割合	99.98	0.02	0	0	0	100
	2016	件数	11,963	2	0	0	0	11,965
		割合	99.98	0.02	0.00	0.00	0.00	100
	合計	件数						78,392
大豆	2012	件数	1	0	0	0	0	1
		割合	100	0	0	0	0	100
	2013	件数	127	0	0	0	0	127
		割合	100	0	0	0	0	100
	2014	件数	152	4	0	0	0	156
		割合	97.44	2.56	0	0	0	100
	2015	件数	68	0	0	0	0	68
		割合	100	0	0	0	0	100
	2016	件数	1					1
		割合	100					100
	合計	件数						353

資料：JA福島中央会資料より作成。

注1）本データは、ふくしまの恵み安全対策協議会HPに掲載されているデータを基に作成した。

注2）年度は、4月1日から翌年3月31日までの期間である。

注3）2016年度は、2016年11月2日現在までのものである。

全量全袋検査に要する経費及び検査員数の推移				

全量全袋検査の経費				
				単位：千円
	2012年度	2013年度	2014年度	計
補助金	3,768,631	502,703	635,059	4,906,393
ベルコン式検査機器整備	3,343,113	71,985	96,000	3,511,098
安全管理システムの運営	67,293	92,976	114,100	274,369
県協議会の運営等				
地域協議会による	358,225	337,742	424,959	1,120,926
検査運営費等				
損害賠償（運営経費）	4,707,998	4,972,960	5,000,000	14,680,958
計	8,476,629	5,475,663	5,635,059	19,587,351

資料：ふくしまの恵み安全対策協議会米穀部会資料。2015年2月27日.

注　：2014年度の補助金は予算額、損害賠償（運営経費）は見込み額

196億円中
東電147億円

全量全袋検査の検査員数・検査所数			
			単位：人、箇所
	2012年度	2013年度	2014年度
検査員数（県委嘱）	1,374	1,674	1,932
検査所数	163	173	173

資料：ふくしまの恵み安全対策協議会米穀部会資料。2015年2月27日.

注：検査員は、検査所に1名配置することとなっており、県が委嘱している。

なお全量全袋検査を実施するためには、この他に米袋の運搬や生産者との検査日時の調整など、JA等集荷業者及び自治体職員が恒常的に業務に携わっており、相当の労力を要している。

震災6年目以降の課題

- 風評問題① 事故直後のイメージが未だに定着
- 風評問題② 福島だけ体系立った高レベルの検査
- 流通段階の課題
 - ①科学的にリスク低減(安全)が証明されたとしても社会的が受け入れる(信頼・安心)かが問題
 - ②市場構造の変化。市場評価(ブランド価値)の下落への対応
- 産地の取り組み
 - ①2014年度以降検査結果:米の基準値超えがゼロになった
 - ②適切な情報提供(低減対策・全量全袋など)を含めた原子力災害対応の現段階を一度総括する必要がある
 - ③震災前とは切り離した新たな産地形成と販売戦略の必要性

全量全袋検査に要する経費及び検査員数の推移				

全量全袋検査の経費				
				単位：千円
	2012年度	2013年度	2014年度	計
補助金	3,768,631	502,703	635,059	4,906,393
ベルコン式検査機器整備	3,343,113	71,985	96,000	3,511,098
安全管理システムの運営	67,293	92,976	114,100	274,369
県協議会の運営等				
地域協議会による	358,225	337,742	424,959	1,120,926
検査運営費等				
損害賠償（運営経費）	4,707,998	4,972,960	5,000,000	14,680,958
計	8,476,629	5,475,663	5,635,059	19,587,351

資料：ふくしまの恵み安全対策協議会米穀部会資料。2015年2月27日。

注　：2014年度の補助金は予算額、損害賠償（運営経費）は見込み額

196億円中
東電147億円

全量全袋検査の検査員数・検査所数			
			単位：人、箇所
	2012年度	2013年度	2014年度
検査員数（県委嘱）	1,374	1,674	1,932
検査所数	163	173	173

資料：ふくしまの恵み安全対策協議会米穀部会資料。2015年2月27日。

注：検査員は、検査所に1名配置することとなっており、県が委嘱している。

なお全量全袋検査を実施するためには、この他に米袋の運搬や生産者との検査日時の調整など、JA等集荷業者及び自治体職員が恒常的に業務に携わっており、相当の労力を要している。

風評対策予算
↓
新規市場開拓
マーケティング対策

原子力災害の損害構造

【物的損害】

①フローの損害

農業粗生産額2330億円(2010年度)

損害賠償請求額 3300億円(5年間)

関係損害額合計 約2500億円

②ストックの損害 農地、家屋、施設

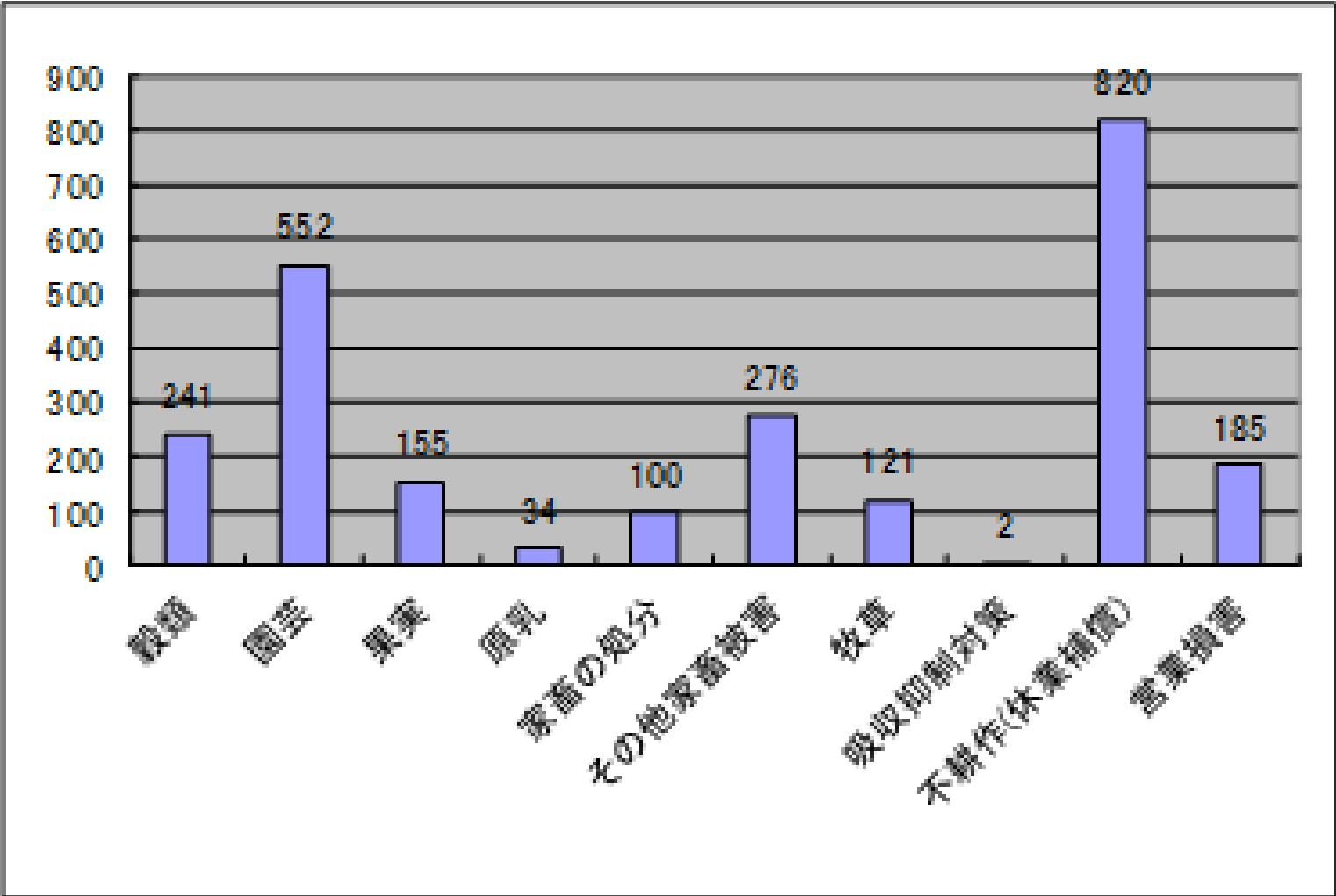
【損失】

③社会関係資本の損失

地域ブランド、共同体、地域営農システム等

福島県協議会損害賠償請求内訳（１０月３１日現在）

請求内容	金額(億円)	比率(%)
穀類	241	9.7%
園芸	552	22.2%
果実	155	6.2%
原乳	34	1.4%
家畜の処分	100	4.0%
その他家畜被害	276	11.1%
牧草	121	4.9%
吸収抑制対策	2	0.1%
不耕作(休業補償)	820	33.0%
営業損害	185	7.4%
合 計	2,486	100.0%



損害と賠償

- 原子力損害の賠償に関する法律(1961)

賠償方針-事業者責任

- 原子力災害対策特別措置法(2009)

事故対応(緊急時)

- 原子力損害賠償・廃炉等支援機構法(2011)

廃炉・賠償に関する東電への貸付6兆円

①個別賠償が基本(産地の損失に対応できない)

②そのため個別の経費(積上)か平均単価算出方式

まず賠償(法的に可能な範囲)ありきではなく、損害構造の把握が必要。